

第75回全国高校駅伝大会にて 大牟田高校が準優勝の快挙 市民に誇りと感動をもたらす

第75回全国高等学校駅伝競走大会が12月22日に京都市で開催され、福岡県代表の大牟田高校が2時間1分57秒で準優勝を飾り、11年ぶりにメダルを獲得しました。

テレビ中継では、アナウンサーから懸命に走る選手の紹介やレース実況のたび、「大牟田」が全国に向けて連呼され、多くの市民や本市出身者の方々に誇りと感動を届けました。



レースは、1区の本田 桜二郎（ホダ オウジロウ）選手（2年）が2位と好調な走りで滑り出し、2区の久保 菜潤（クボ ナヲ）選手（3年）は1位との差を40秒以内に維持した状態で3区の松田 祐真（マツタ ユウマ）選手（3年）につなぐと、松田選手は、そのまま上位を維持して4区の野田 顕臣（ノダ ケンシン）選手（3年）につなぎ、野田選手は沿道からの声援に何度もガッツポーズで応えて大会を沸かせました。5区の塚田 虎翼（ツカタ タクト）選手（3年）が粘り強い走りでトップに躍り出ると、6区の森本 守勇（モリモ シュウ）選手（3年）が佐久長聖高校と激しい1位争いを展開し、最終区7区の村上 遵世（ムラカミ ジュンセイ）選手（2年）にタスキをつなぎました。村上選手は、佐久長聖高校との激しいデッドヒートの末、ゴール手前1キロ付近で離されてしまいましたが、最後まで懸命に走り続け、トップと24秒差の2位でゴールしました。

全国の頂点まであと一步及ばず悔し涙を飲みましたが、今大会のタイムは大牟田高校の歴代1位の記録でした。

全7区中4、5、6区では、区間賞を獲得する快走を見せ、全国に優勝争いの常連校の復活をアピールした素晴らしいレースでした。



また、12月24日には、市役所前、ゆめタウン、イオンモールの3か所で選手、監督、関係者による凱旋報告が行われ、当日集まった多くの市民に対して、選手や監督から謝意が伝えられました。

松田 祐真主将（3年）は、「優勝できなかった悔しさは後輩たちに託したい。」と述べ、1区を走った本田 桜二郎選手（2年）は、「17年間大牟田で育ったので、恩返しができて嬉しい」と力強く語ってくれました。

来年の都大路では、王者復活に大きな期待が寄せられることでしょう。



編
集
後
記

大牟田高校駅伝部の準優勝
誠におめでとうございます(Y)

■編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】大野哲也 【副委員長】北岡あや
【委員】光田茂 山口雅夫 櫻井ちはる

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880
E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 株式会社 江崎印刷所